

2017年 理工学部 第1問

1 次の各問いに答えよ。

(1)  $\alpha, \omega$  は定数で,  $\omega > 0$  とする. 媒介変数  $t$  で表された曲線

$$x = 2 \cos\left(\omega t + \frac{\pi}{6}\right), \quad y = \sin(\omega t + \alpha)$$

について,  $t$  を消去して  $x, y$  の方程式を求める.  $\alpha = \frac{2}{3}\pi$  のとき, 求める方程式は  である. また,  $-\frac{\pi}{3} < \alpha < \frac{2}{3}\pi$  のとき,  $\beta = \sin\left(\alpha - \frac{\pi}{6}\right)$  とおくと, 求める方程式は

$$\text{イ} x^2 - \text{ウ} xy + \text{エ} y^2 = 1$$

である. ただし, , ,  には  $\beta$  の式を書きなさい.

(2)  $i$  を虚数単位とし, 集合  $L$  と  $M$  を

$$L = \{z \mid z \text{ は整数 } a, b \text{ を用いて } z = a + bi \text{ と表される複素数}\}$$

$$M = \left\{z \mid z \in L, \frac{5}{z} \in L, |z| \neq 1, \left|\frac{5}{z}\right| \neq 1\right\}$$

で定める. 複素数  $z = a + bi$  に対して,  $z \in L$  ならば  $|z|^2 = \text{オ}$  は整数である. また,  $z \in M$  ならば  $|z|^2 = \text{カ}$  であり, 集合  $M$  の要素の個数  $n(M)$  は  である. 集合  $M$  の要素  $z$  のうち, 実部が最も大きくかつ虚部が正となる  $z$  は  である.

(3) 関数  $f(x)$  を  $f(x) = \int_0^x e^{t^2} dt$  と定め,  $f(x)$  の逆関数  $f^{-1}(x)$  を用いて関数  $g(t)$  を  $g(t) = f^{-1}(t)$  と定める. このとき, 関数  $G(x) = \text{ケ}$  を用いて  $g''(t) = G(g(t))$  と表すことができる.